

第17回 全国政策研究集会

2025
IN
大阪
吹田

今こそ
何度も自治を問う

8/20 水曜日 8/21 木曜日
吹田市文化会館メイシアター

参加申込み
締切り
7月末
オンラインは
当日まで

基調講演

選挙とメディア

江川紹子さん（ジャーナリスト）

デモクラシーと地方自治～自治の必要性を再考する～

坂本治也さん（関西大学法学部教授）

- 分科会1 | わかりあえないことから始める政治対話
コーディネーター 杉岡秀紀さん（福知山公立大学地域経営学部准教授 自治体学会理事）
大学生などユース世代
- 分科会2 | くらしと政治をつなぐ市民活動～市民自治を問う～
活動報告 長谷川美津代さん（吹田傾聴ほほえみ）
田村幸大さん（NPO法人なごみ事務局長 西宮市生涯学習・地域づくりコーディネーター）
コメンテーター 坂本治也さん（関西大学法学部教授）
- 分科会3 | 大阪万博の現状 自治体の責任を問う
西谷文和さん（ジャーナリスト）
野々上愛さん（大阪府議会議員）
- 分科会4 | 子どもの日常から考える「子どもの権利」
吉岡洋子さん（関西大学社会学部教授）
水木千代美さん（NPO法人COCONI代表）

主催/全国政策研究集会2025in吹田実行委員会
共催/自治体議員政策情報センター 虹とみどり 平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議



会場 吹田市文化会館メイシアター

<https://maytheater.jp/access/>
〒564-0041大阪府吹田市泉町2-29-1
Tel 06-6380-2221 FAX06-6330-7230
soumu@maytheater.jp



参加費(1日でも2日でも)

- 政策情報センター会員議員—— 5,000円
- 非会員議員(区市議・都道府県議) —10,000円
- 首長—— 5,000円(協賛費)
- 小規模自治体議員(5万人以下)—— 3,000円
- 町村議(会員、非会員問わず)—— 3,000円
- 一般—— 1,000円
- 学生—— 無料

※オンラインの場合も参加費は同じです。

申し込み方法

右QRコードから
お申し込みください。



参加申込み
締切り
7月末
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_jg0SKNeeQ0-Kpi8hEMRSrQ
オンラインは当日まで
お申し込みいただけます。

参加のお申し込み、お問い合わせは



自治体議員政策情報センター

虹とみどり

<http://www.greens.gr.jp/jouhou/index.html>

〒700-0971岡山市北区野田5-8-11かつらぎ野田ビル2F
自治体議員政策情報センター・虹とみどり
電話086-244-7723 Fax086-244-7724
jichitaigiinjouhou@gmail.com

今こそ 何度も自治を問う

8/20 水曜日 受付 12:30～

基調講演

選挙とメディア 13:10～14:40

江川紹子さん (ジャーナリスト)

SNS上などで氾濫する虚偽情報が世界の政治を動かす時代こそ、事実かどうかをチェックするメディアの役割がますます重要になってくる、と江川さんは問題提起をしています。自治の柱としての選挙が揺らぐ危険性を指摘。その提起をもとに兵庫県知事選挙、民主主義の原点としての地方自治を論じます。

挨拶

13:00～13:10

上原公子さん (自治体議員政策情報センター長、元国立市長)



上原公子

基調講演

デモクラシーと地方自治～自治の必要性を再考する～ 14:50～16:20

坂本治也さん (関西大学法学部教授)

いま日本の地方自治は空洞化しつつあります。地方選挙における投票率は低下し、小さな自治体では地方議員の成り手も不足しがちです。財政難と人員削減の中で地方公務員も困難な状況です。市民が自治を積極的に担おうとする気概も見られません。そうした中、改めて「なぜ地方自治は必要なのか」を政治学の観点から考えていきます。



江川紹子



坂本治也

1
分科会

16:40～18:30

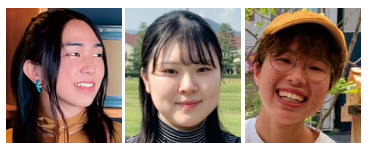
わかりあえないことから始める政治対話

コーディネーター 杉岡秀紀さん (福知山公立大学地域経営学部准教授 自治体学会理事)
大学生などユース世代

分断や息苦しさを感じる社会では、ユース世代にとって政治はタブー視され、気軽に話せません。議会議員は多様な考えを持つ中で、対話や議論ができているのでしょうか？そのことは市民やユース世代に伝わっているのでしょうか？ユース世代から対話の方法を提案し、実践する場を提供します。対立ばかりの議会ではなく、対話から生まれる民主主義を実践し、ユース世代が政治をもっと気軽に語る社会を目指します。



杉岡秀紀



大学生などユース世代

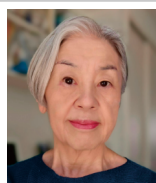
2
分科会

16:40～18:30

くらしと政治をつなぐ市民活動～市民自治を問う～

活動報告 長谷川美津代さん (吹田傾聴ほほえみ)
田村幸大さん (NPO法人なごみ事務局長 西宮市生涯学習・地域づくりコーディネーター)
コメンテーター 坂本治也さん (関西大学法学部教授)

団塊世代が75歳以上になり超高齢社会に突入する「2025年問題」。西宮市にて約11年前から地域の居場所「まちcafeなごみ」を運営し、行政・大学との連携を深めておられる田村さんと吹田市にて「主婦だからこそ社会に関わっていくために！」と約30年前から市民活動をされている長谷川さんのお話を伺い、私たちはどう政治と関わるのか、共に考えます。



長谷川美津代



田村幸大

交流会

19:00～21:00 メイシアター三階レセプションホールにて
交流会

第17回全国研究会は、巨額の税金を投じ実施の是非を問われてきた大阪・関西万博の真ただ中、

1970年日本初の万博開催地、吹田市にて開催します。

私たちは2000年の地方分権一括法以来、市民自治を基盤とした地方自治を追求し、全国各地で開催してきました。

現在、兵庫県知事選挙をめぐる事実と流布される言説との混乱、国の特例的指示権が可能となる

地方自治法改正といった状況があります。

選挙における民主主義とは何か、公共とは何か、地方自治とは何か、を改めて真正面に据えて開催します。

8/21 木曜日 受付 9:10～9:20

3
分科会

9:20～11:10

「大阪万博の現状 自治体の責任を問う」

西谷文和さん (ジャーナリスト)
野々上愛さん (大阪府議会議員)

今回の研究会会場である吹田市は、1970年の万博の地であり、その跡地として日本庭園や民族博物館などがある一方、現在アリーナ建設なども進められています。

今年4月13日から10月13日までは、ごみ最終処理場として埋め立てた人口島「夢洲」にて大阪・関西万博が開催され、その横ではカジノを含むIR(統合型リゾート)の工事が進んでいます。工事中のガス爆発や災害時には途絶が予想される会場アクセス、来場者数稼ごのための学校遠足動員など、問題山積の大阪・関西万博の開催状況と自治体の責任、そして大型開発と繋がる現状を問います。



西谷文和



野々上愛

4
分科会

9:20～11:10

子どもの日常から考える「子どもの権利」

吉岡洋子さん (関西大学社会学部教授)
水木千代美さん (NPO法人COCONI代表)

2023年度から施行されたことも基本法で、子どもの権利の観点が子ども関連施策の基盤であると明記されたが、実際には何をどうすればよいのか各地で模索が始まっています。

本分科会では、まず「子どもの権利、そして子どもの声を聴くとは」について講義を行い、その上で実践例を紹介し、最後に参加者との質疑から目指す社会の在り方を展望します。



吉岡洋子



水木千代美

まとめの
全体会

11:20～11:40

まとめの全体会

オプションツアー

8/21 木曜日
万博記念公園
吹田市危機管理センター

集合 12:50 メイシアターロビー 解散 17:30 万博記念公園



1970年日本万国博覧会は、77カ国の参加のもと約6400万人を超える入場者により好評のうちにその幕を閉じました。

開催から約半世紀経過してもなお公園内に建つ太陽の塔は現代においても見劣りせず長きに渡りその場で歴史を見守ってきた姿は圧巻です。

そんな太陽の塔も存続の危機の中多くの寄付のもと復活を成し遂げました。

都市部にありながら広大な敷地を持つ万博公園は昔の面影を残しつつ今もなお憩いの公園として多くの人たちに愛されて続けています。

未来の私たちに引き継がれた吹田の万博公園をぜひ体験してください。

また同時に訪問する吹田市危機管理センター(EMC)は、いつ発生してもおかしくない大規模災害に対応するため、大型のマルチモニター等による迅速な情報の収集・整理が可能な「有事」に対応する災害対応機能の「ワンフロア化」・「常設化」を実現した施設です。